2003年5月の格言

平成１５年５月の格言は「ワンマン経営」です！

ワンマン経営とは・・・

社長がすべてのことに権力を振るって

勝手な事をする事ではなくて、

社長ただ一人が事業経営の全ての責任を負う事である！

ワンマン経営のないところ、
真の経営などあり得ないのである。

会社がつぶれた時の責任は
明らかに「社長ただ１人」にある。
文字通り「ワンマンの責任」なのである。

この事を知っていれば、心無い人々が
「あの人はワンマン社長だ」
などと言う言葉が
いかに誤っているか分かるはずである。

合議制・民主経営などと言うことは
まったくの誤りで
「ワンマン経営」以外はあり得ないのである。

何事も部下に相談し、会費で決めると言う

ようなことは、厳しい現実に対しては

決して正しいことではない。

我が経営・人生の師

一倉定先生　「経営の思いがけないコツ」より